

---

# 死神

樋口斗聖

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

死神

### 【Nコード】

N5639F

### 【作者名】

樋口斗聖

### 【あらすじ】

見えざるものが見える少年見えてはいけない世界の男頻発する猟奇事件過去と現在が交差する中で二人がたどり着いた先は・・・

そして僕の喉元を君が愛撫する(前書き)

多少暴力表現・シーンが含まれる予定です  
ホラーサスペンスに挑戦しています

## そして僕の喉元を君が愛撫する

< 追想 >

あれはいつだっただろうか

そうだ 僕がまだ小学生の頃だ。

家族で正月休みを利用してスキー旅行に来ていた時。

元々風邪ぎみでセキが残っていたのに、せっかくの予約はもつたいないからと何となく連れてこられてしまった。

移動の初日は無事やり過ごせたが体調は最悪で温泉もバイキングもちっとも楽しめなかったのに。

とまらないセキと熱っぽくなっていくのを悟られまいと我慢して、ゲレンデまでたどり着いたまでは良かったのだが

みんなが楽しそうにスキーに興じる傍で僕の体調はどんどん悪くなっていた。

兄貴が気が付いて騒ぎ出した頃には高熱と胸の苦しさと立ち上がることもできなくなってしまっていた。

担ぎ込まれたスキー場の診療所に救急車が呼び出され、

遠巻きにギャラリーが見守る中、毛布にくるまれた僕は地元の大学病院に運ばれていった。

「肋膜炎を発症しています。こんなになるまでどうして放っておいたの!？」

年配の女医はレントゲンを見るなり両親に噛み付いた。

「肺炎も起こしています。チアノーゼが始まっている。・左の肺に穴を開けます!! 準備して!!」

あわただしく看護婦さんが走り回る診察室の隅っこで両親は縮こまっていた。

僕といえば朦朧とする意識と息をするたびにこみ上げて来る絶えがたいほどの息苦しさと、あれは正しく死に体といった感じだったの

だろうか

目の前に運ばれてくる色んな道具や耳障りな物音さえ、どこか別世界の出来事が繰り広げられてるように実感がなくてうっとりとしていた。

ともかく必要な処置がなされたのは薄々覚えている。でもどんなだったかはつきりしない。

「・・・かなり重症の肺炎に・・・ウイルスの・・・」  
息苦しさはちつとも収まらない。

呼吸器のマスクが食い込んで痛いのに動かすこともできない。

「残念・・・今夜が峠に・・・かも・・・さい・・・」

そうか・・・僕死ぬかもしれないんだ・・・

実感は全然わかない。だけど医者が死ぬかもしれないといっているのなら僕はきつと死ぬだろう。

漠然とした頭に恐怖がこみ上げてきた。

どうしたらいいんだろう。どうしてこんなことになったんだろう？  
耳元に響いてくる機械の電子音、例えばこの音が止まったら僕の命は終わってしまうんだろうか

「つれて帰ります！！」

母さんが泣きながら怒鳴った。ショックで動転してしまったのだから。

「つれて帰って家で死なせます！！家に帰して！！！！」

「お母さん 何言ってるの！！」

「お願いします！ あの子を起こしてええっ」

部屋に怒号が飛び交い父さんの詫びる声がそれに混じる。

こんなところで喧嘩しないで

お願い喧嘩しないで

僕はここにいるんだぞ？ 苦しいけど生きてここにいるんだ  
やるせない気持ちに涙が溢れてきそうになるなかで思う。

死神が迎えに来る

もうすぐ僕を連れにやって来る

どこかで待ち構えているのかもしれない。

姿を見せずに僕の死んでいく様を待ち構えているに違いない。

誰か助けて・・・！

その姿をふと見てしまいそう

手を伸ばして救いを求めようにも動かすこともできない。

助けて 助けて 助けて

そして僕は気を失った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5639f/>

---

死神

2010年10月18日01時38分発行